



令和3（2021）年度入試総括②

令和3（2021）年度の私立大学入試の総括をしておきます。

【受験者数】

志願者数は、主要22私立大学（青山学院大・学習院大・慶應義塾大・駒澤大・上智大・専修大・中央大・東京理科大・東洋大・日本大・法政大・明治大・立教大・早稲田大・京都産業大・同志社大・立命館大・龍谷大・関西大・近畿大・関西学院大・甲南大）で、全体に減少しています（前年度比90）。 ※駿台予備学校調べ 前年度比は%

これは、入試制度の変更を嫌って昨年度の受験生が浪人を控えたことに加え、収束が見えないコロナ禍に対する不安から、現役生も受験校を絞り込んだ結果だと思われます。特に東京の大学は、都市部を中心に新型コロナウイルスの感染が広がったことから地元志向が強まった影響を大きく受けたと思われます。

方式別では、一般方式の減少（前年度比86）に対し、共通テスト利用方式は前年度並（前年度比101）ですが、これは、早稲田大・上智大・青山学院大・学習院大などが、共通テスト利用方式を拡大したり、新規導入したりした影響が大きいと思われます。前年度から継続する共通テスト方式では、一般方式以上に減少が見られました。

そうした中で、志願者数が増加した大学としては、関東では立教大があります。文学部の一部の日程を除いて英語の独自試験を廃止して、英語資格・検定試験の成績または共通テストの英語の成績を利用するといった大掛かりな入試変更を行ったことや、試験日を増やしたことなどが影響したと思われます。

こうした一部の大学を除き、ほとんどの大学で受験倍率が下がりました。ただし、受験校を絞り込む際には、合格の可能性が低いチャレンジ校の受験を控える場合が多いと思われるので、難関校では見掛けの数字ほどは易化していないようです。とは言え、チャンスが広がったのは確かです。ぜひ努力を継続し、第一志望校は妥協せずにチャレンジしましょう。

【出題傾向】

共通テストは、国語・数学で予定されていた記述式問題の導入を見送りましたが、私大でもここ数年記述式の問題が増えています。問題演習の際には、記述式の練習をしておきましょう。選択式の問題でも、初めから選択肢を見るのではなく、一旦自分で解答を作った上で、それと合致する選択肢を選ぶ練習をすると記述式にも対応できる解答力が付きます。

複数の文章や資料（図・グラフなど）を読ませる問題も増えています。早く正確に情報を読み取り、処理する能力が求められています。

また、外部英語試験利用入試を導入する大学も増えています。さまざまな方式があるので、志望校が自分に有利な方式を採用している場合は利用を考えてみましょう。



短期記憶を長期記憶に

中間考査の答案が返却されましたね。結果はどうだったでしょうか？ 日頃の学習の成果が発揮できたでしょうか？ 中間・期末などの定期考査は、教員が君たちの成績を付けるためだけでなく、君たちが学習の成果を上げるためにも意味があります。

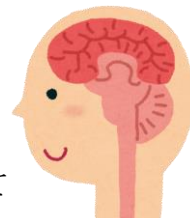
記憶は、その長さによって、一時記憶・短期記憶・長期記憶に分けられます。

一時記憶は、一時的なその時だけの記憶です。教科書や単語集をチラッと見たり、授業で教員の話聞き流したりしただけでは、その記憶はすぐに消えてしまいます。

一時記憶を短期記憶にするには（いきなり長期記憶にはできません）、まず、覚えようという強い意志を持つことです。ここは大事だから覚えようと思って頭の中で反芻したり、ノートに書き写したりすることです。勿論、機械的な暗記よりも、きちんと理解した上で覚えた方が記憶は定着します。だから、予習・復習が大事なのです。予習をして、自分がわからないところを洗い出せば、授業中にその部分の説明を集中して聴くことができます。また、授業中に大事だと思ったところや、理解の曖昧だったところを、帰宅して復習することで、短期記憶として定着します。

この短期記憶も、そのままにしておくと1～2週間で消えてしまいます。では、短期記憶を長期記憶にするには、どうしたらよいのでしょうか？

それが長期的に記憶すべき大事な情報だということを、脳に判断させるのです。そのためには、忘れてしまう前の復習が必要です。脳は、何度も入って来る情報は、重要だと判断します。教科書の単元ごとに復習をしたり、定期考査の際にまとめのノートを作ったり、そうした反復学習をすることで、短期記憶が長期記憶として定着していくのです。



ルビコン河畔 ～進路コラム～

緊急事態宣言延長、そしてそのまま梅雨入りかな。気持ちは沈む一方…。なんか元気が出ることはありませんか？ TVドラマ『ドラゴン桜』はいかがでしょう。もう10年以上前に放送されたドラマの続編ですが、なかなかいい感じで笑えますよ。もちろん、そんなに簡単に東大合格できるとは思えないけど、「そうだね！」とうなずくシーンも盛り沢山。一人で頑張るよりも仲間と励まし合った方が学力は伸びる。「大学受験は団体戦だ！」これはよく使われるフレーズです。南平でもコロナで友だちと一緒に過ごす時間が明らかに減っています。勉強はオンラインで家でも出来る。理屈はそうですが、人間そんなに単純じゃないよ。だからこそ気持ちが大切。自分は一人じゃない。一緒に頑張っている仲間の存在を強く意識してください。くじけそうになったら助けを求めていいです。誰かと繋がっているというイメージが、きっとあなたを元気にしてくれますよ。

進路ニュース（6月の主な進路関係行事等）

■実力テスト（ベネッセ総合学カマーク模試）（3年） ※5月31日に実施済

■小論文ガイダンス（3年）

■進路ガイダンス（2年）

※「緊急事態宣言」の発出により中止となった3年保護者会で行う予定だった進路ガイダンスについては、スライドに解説の動画を付けて、本校webページ上にアップしました。御覧ください。詳しい閲覧方法は、「3学年通信第1号」に記されています。

